



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第8号

平成16年 1月15日

あした元気になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人權と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



今年の干支は猿 山の内町地獄谷温泉で野天風呂につかる猿のグループ

年頭に当たって職員一同、市民病院の理念に沿った医療の実践を改めて誓い、新年のご挨拶といたします。

当院の昨年を振り返ると第三者機関による「病院機能評価認定病院」、紹介率30%以上、平均在院日数17日以内の「急性期病院」、地域の医療関係者にも開かれた「開放型病院」、「新医師臨床研修指定病院」などいくつかの懸案事項が達成できました。今年は100床の増床の認可を受けて専門医療と救急医療を両立させ、さらに充実した病院となるよう病院増改築のスタートの年となります。また新しい医療情報システムが近いうちに稼働しますが、待ち時間の短縮を含む医療の質向上が期待されます。

新年明けましておめでとうございます。経済不況やイラク情勢をはじめ生活や平和が脅かされていますが、今年こそ希望の持てる年になりますように皆さまとともに祈りたいと思います。



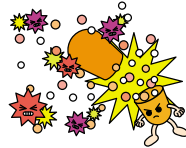
年頭にあって

病院長 長田敦夫



「薬」といわれる化学物質は適切な量をカプセルに充填したり、水に溶かしてアンプルに入れたりすることにより治療に使用するカプセル剤、注射剤という「薬剤」となります。「薬」を「薬剤」にする過程を工夫することで有効性や利便性の向

上を図っています。薬には即座に効いて欲しいものと、ゆっくりと効果が持続して欲しいものがあります。例えば片頭痛治療薬の場合、発作時、頭痛と共に強い吐気があり、飲み薬では吐いてしまうことがあります。速効性の注射薬が有効ですが病院に来る必要があります。また病院に来るまで痛みを我慢することが大きな苦痛になります。そのため点鼻薬という、鼻の中にスプレーして効果が出るように工夫したものがあります。



「薬」の新しい「かたち」

薬剤科長 多田昭博

一方、一ヶ月に一度注射すれば効果が持続する薬が開発されています。薬をマイクロカプセルという小さな小さな粒の中に閉じ込めます。粒の壁の溶ける速度の早いものから遅いものまで沢山の種類をつくり注射剤にします。これを皮下に注射すれば一ヶ月有効です。この方法の欠点は副作用が出て急には中止できないことです。簡単に扱えて、副作用が出たら中止できる、持続効果のある

新しい「薬のかたち」が貼り薬です。皮膚に貼ると、皮膚を通して徐々に薬が吸収され全身を巡って効果が出ます。現在はいくつ三日効果が持続するものがあり、鎮痛剤や喘息、狭心症の治療に使用しています。万が一、副作用が出て剥がせば比較的簡単に効果がなくなります。今後、このような貼り薬が益々利用されていくと考えられます。

咳の出る外来患者さま等に

マスクを無料で配布



当院では、昨年十一月より感染対策の一環として咳をしている患者さま、お見舞い、付き添いの方々院内で着用していただくためのマスクを無料で配布しております。

外来の窓口、入院のスタッフステーションなどでお渡ししていますので必要な方は、『マスクください』と気軽に声をかけてください。

絵画の寄贈

大豆島の轟さんより四点

当院には、開院時に各方面から寄贈を受けた絵画、百七十点ほどが、エントランスホール、外来中待合、病棟廊下などに展示されており、患者さまを始め来院者に親しまれております。

このほど長野市大豆島在住の轟斐夫さんから四点（写真ほか）の寄贈がありました。ありがとうございます。



百床の増築計画スタート

12月市議会で補正予算認められる

十一月の病床利用率は、九十九・七パーセントでした。このように長野市民病院は、三百床のベットが常に満床状態のために、重病の救急患者を断わる事態が続いております。慢性的なベット不足の解消と、救急医療の充実を図るために、かねてから計画しておりました百床の増床



について、十月三十一日付けで長野県知事の認可があり、十二月市議会において基本設計費、及び用地取得関係の補正予算が認められました。これにより、平成十九年四月診療開始に向けた増床計画が現実のものとして動き始めました。

増築は、現病棟の南側の民有地を購入

新たに病棟を建設する予定地は、現病棟の南側（写真）で、面積は、約一万八千平方メートルです。現敷地面積の約三万九千平方メートルと合わせると五万七千平方メートルになります。この土地は、優良農地であり、農地法によって農地以外の転用は制限されており、地方公共団体が病院としてこの土地を利用する場合も、地主さんの申

充実検討委員会が中間報告

救急医療の充実と医療水準の向上を図るために、昨年八月に発足した長野市民病院充実検討委員会（委員長・塚田俊之氏）では、十月三十日鷺澤市長に対して中間報告を文書で行いました。

概要は次のとおりです。まず、百床の増床の必要性については、現在救急告示病院として救急患者の対応を行っているが、日々満床に近い状況から入院を必

要とする患者の受け入れを断わざるを得ない状況である。今後、各方面から要望の強い初期救急医療について、二十四時間、三百六十五日対応し、二次・三次救急についても地域基幹病院と連携し、救急医療を専門的に行うためには、マンパワーの確保と救急病床、その後方病床として百床の増床が必要としています。増床の考え方として、長野市北部地域の小児を含めた初期救急医療

請により農業振興地域整備計画の農用地の除外と農地転用の許可が必要です。

この除外の許可は年二回しかチャンスがありませんので、該当農地の所有地主さん九名と交渉の結果、ご理解をいただき十一月二十八日付けで申請をしていただきました。

農用地の除外の許可は、来年の春の予定です。これから地主さんとの用地交渉、平行して建物の基本設計等の作業を進めていきます。

を、市の急病センターに代って行うことを強く要望されており、救急医療の充実のために、救急専門の救急部（センター）を設置し外来部門には初期救急医療に対応するため、現在長野赤十字病院の敷地内で行っている長野市急病センターの機能を移し、長野市医師会員の参加も得て、長野市から委託を受けて運営するとしています。細部については、更に検討し、二月中には最終報告をする予定です。



外来診療担当日一覧

長野市民病院

	月	火	水	木	金	備 考	専 門
内 科 (消化器科) (循環器科) (呼吸器科) (神経内科)	○岡田 和義 平井 一也 ○今井 康晴 新倉 則和 黒河内典夫 海野 純	岡田 和義 ○古屋 志野 今井 康晴 ○丸山 隆久 ○市川 真也 床尾万寿雄	長田 敦夫 ○古屋 志野 平井 一也 ○長谷部 修 丸山 隆久 ○黒河内典夫 床尾万寿雄	岡田 和義 古屋 志野 ○新倉 則和 丸山 隆久 市川 真也 ○床尾万寿雄	○平井 一也 今井 康晴 長谷部 修 黒河内典夫 ○海野 純	○印は初診担当です が、紹介の場合はこ の限りではありません。 ん。	長田 敦夫 (消化器・肝臓・脾臓) 平井 一也 (呼吸器) 今井 康晴 (消化器・肝臓) 床尾万寿雄 (腎臓・脾臓・透析・糖尿病) 長谷部 修 (消化器・内視鏡) 丸山 隆久 (循環器) ○岡田 和義 (呼吸器) 黒河内典夫 (循環器) 新倉 則和 (消化器) 海野 純 (消化器) 市川 真也 (呼吸器) 市川 真也 (内科)
小 児 科	○青沼架佐 田村 秋穂 信大医師	田村 秋穂 青沼架佐	青沼架佐 田村 秋穂	田村 秋穂 青沼架佐	青沼架佐 田村 秋穂	○印はカウンセリング (要予約)です。 午前10時から診察	青沼架佐 (発達・神経・循環器・心身症) 田村 秋穂 (免疫アレルギー・血液・腎臓)
午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査 小児心療内科外来	小児心療内科外来	免疫・アレルギー腎臓 小児心療内科外来	循環器外来 小児心療内科外来	神経外来 小児心療内科外来		
外 科 (呼吸器外科)	宮川 雄輔 宗像 康博 濱中 一敏	大野 康成 関 仁誌 西村 秀紀	酒井 宏司 宗像 康博 濱中 一敏	大野 康成 — 西村 秀紀	宮川 雄輔 関 仁誌 —		宗像 康博 (消化器・胃大腸) 西村 秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 大野 康成 (消化器・肝移植) 宮川 雄輔 (肝胆臓) 濱中 一敏 (呼吸器) 酒井 宏司 (外科)
整 形 外 科	南澤 育雄 木下 久敏 ○松田 智 ○竹山 和昭 ○松永 大吾	○南澤 育雄 松田 智 竹山 和昭 ○向山啓二郎 —	○南澤 育雄 木下 久敏 ○竹山 和昭 松永 大吾 向山啓二郎	○木下 久敏 松田 智 竹山 和昭 ○向山啓二郎 —	南澤 育雄 ○木下 久敏 ○松永 大吾 —	○印が初診担当です	南澤 育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節) 木下 久敏 (脊椎・脊髄) 松田 智 (上肢・末梢神経) 竹山 和昭 (脊椎・関節疾患) 松永 大吾 (股関節・整形外科一般) 向山啓二郎 (整形外科一般)
形 成 外 科	○滝 建志 佐野 貴史	○信大医師 佐野 貴史	○滝 建志 佐野 貴史	○佐野 貴史 滝 建志	○滝 建志 佐野 貴史	○印が初診担当です	
脳神経外科	高澤 尚能 ○石坂 繁寿	竹前 紀樹 ○高澤 尚能	○竹前 紀樹 —	竹前 紀樹 ○石坂 繁寿	— ○高澤 尚能	○印が初診担当です 水曜頭痛外来(初診)	竹前 紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害・頭痛) 高澤 尚能 (脳外科一般) 石坂 繁寿 (脳外科一般)
皮 膚 科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實		
泌 尿 器 科	岡根谷利一 ○西澤 秀治	西澤 秀治 上垣内崇行	岡根谷利一 西澤 秀治	西澤 秀治 ○岡根谷利一	岡根谷利一 上垣内崇行	○印の診療は 午前10時30分から診察	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 西澤 秀治 (小児泌尿器・尿路結石) 上垣内崇行 (尿路結石・前立腺肥大)
婦 人 科	○森 篤 西澤千津恵	— ○信大医師	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	○印は初診担当ですが 紹介の場合はこの限り ではありません。	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵 (婦人科一般)
午後 専門外来 (予約制)	森 篤	—	森 篤		森 篤		
眼 科	風間 淳 山本 裕香	風間 淳 山本 裕香	風間 淳 山本 裕香	風間 淳 山本 裕香	風間 淳 山本 裕香		風間 淳 (眼科一般) 山本 裕香 (眼科一般)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	—	野村 康	野村 康		
放 射 線 科	—	橋田 巖	—	橋田 巖	橋田 巖		橋田 巖 (放射線治療) 今井 巖 (画像診断)
歯 科・ 口 腔 外 科	藤森 林 田村 稔	田村 稔 藤森 林	藤森 林 田村 稔	信大医師 信大医師	藤森 林 田村 稔	初診・午後外来手術 再診	田村 稔 (口腔腫瘍) 藤森 林 (口腔外科一般)

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199
FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社

長野市民病院

Nagano Municipal Hospital

医師人事異動

十二月三十一日付(退職)

脳神経外科医師 萩原 利浩

(伊那中央病院へ)

一月一日付 (新任)

脳神経外科医師 石坂 繁寿

(信州大学医学部より)

本紙のバックナンバーは、ホーム
ページでもご覧いただけます。

■ 発行人 長田敦夫
■ 編集 長野市民病院
■ 編集委員会